

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表2003-520514

(P2003-520514A)

(43)公表日 平成15年7月2日(2003.7.2)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード(参考)
H 04 J 3/00		H 04 J 3/00	M 5 C 0 5 3
H 04 N 5/92		H 04 N 5/92	H 5 K 0 2 8

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求(全30頁)

(21)出願番号	特願2001-552647(P2001-552647)
(86) (22)出願日	平成13年1月5日(2001.1.5)
(85)翻訳文提出日	平成13年9月10日(2001.9.10)
(86)国際出願番号	PCT/EP01/00110
(87)国際公開番号	WO01/052554
(87)国際公開日	平成13年7月19日(2001.7.19)
(31)優先権主張番号	00200038.8
(32)優先日	平成12年1月10日(2000.1.10)
(33)優先権主張国	欧州特許庁(EP)
(81)指定国	EP(AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), BR, CN, JP, KR, PL, US

(71)出願人	コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス エヌ ヴィ Koninklijke Philips Electronics N. V. オランダ国 5621 ペーー アンド一 フェン フルーネヴァウツウェッハ 1 Groenewoudseweg 1, 5621 BA Eindhoven, The Netherlands
(72)発明者	ケリー デクラン ピー オランダ国 5656 アー アー アンド一 フェン プロフホルストラーン 6
(74)代理人	弁理士 沢田 雅男

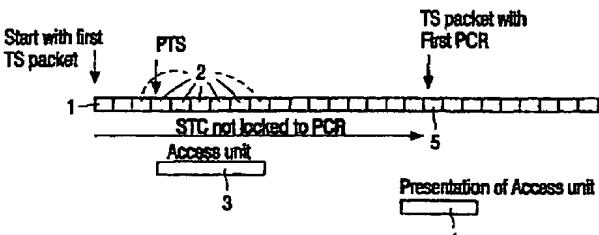
最終頁に続く

(54)【発明の名称】MPEGシーケンスのスタート時におけるシステムタイムクロックの設定方法

(57)【要約】

【課題】スタート時に受信サイトにおけるローカルクロックが基準プログラムクロックによってロックされていないために、トランスポートパケット(TP)を復号またはプレゼンテーションするべきタイミングが分からぬい、あるいは、パケット到着タイミングPATが、リアルタイムストリームの不連続のあとに不連続となることを、未然に防止すること。

【解決手段】受信/記録デバイスのローカル・システムタイムクロックカウンタ(STC)を、MPEG 2トランスポートストリームパケットなどの情報信号パケットの受信されたリアルタイムシーケンスに含まれる基準プログラムクロック(PCR)情報にロックすることを可能にする方法。この方法は、最初の情報信号パケットの到着から、最初の基準プログラムクロック(PCR)情報を有する情報信号パケットの到着までの間のサイクル数を判断するステップを有する。この情報は、格納されるシーケンスの属性として格納される。



【特許請求の範囲】**【請求項1】**

MPEG 2トランSPORTストリームパケットのようなAV情報有する情報信号パケット(TSパケット)の受信されたりアルタイムシーケンスのパケット到着タイムスタンプPAT(Packet Arrival Timestamp)を生成する方法であって、複数の情報信号パケットの前記シリアルシーケンスが、間隔を置いて、ローカル・システムタイムカウンタ(STC)を基準プログラムクロック(PCR)情報によってロックするための前記基準プログラムクロック(PCR)情報を有し、前記方法が、

前記ローカル・システムタイムカウンタ(STC)から導出されるパケット到着タイムカウンタを使用して各パケットの前記パケット到着タイムを判断するステップと、

対応するパケット到着タイムスタンプ(PAT)を、受信された情報信号パケットに付加するステップと、を有する方法において、

最初の情報信号パケットを受信する前に前記パケット到着タイムカウンタを任意の値に設定し、

前記シーケンスの前記最初の情報信号パケットの前記パケット到着タイムスタンプ(PAT)と、基準プログラムクロック(PCR)情報を有する前記最初の情報信号パケットの前記パケット到着タイムスタンプ(PAT)とを一時的に格納し、

当該パケット到着タイムスタンプ(PAT)の間のローカル・システムタイムクロックカウンタ(STC)のカウント数を決定し、

その数を前記基準プログラムクロック(PCR)値から減じて、システムタイムカウンタのスタート値(STC-start)を取得する、
ことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記付加されたパケット到着タイムスタンプ(PAT)を有する前記受信された情報信号が、記録媒体上に格納され、前記システムタイムカウンタのスタート値(STC-start)が、前記格納されたシーケンスの属性として格納される、請求項1による方法。

【請求項3】

請求項1による前記方法によって取得された、MPEG 2トランSPORTストリームパケットなどA/V情報を有する情報信号パケット(CTS)の格納されたリアルタイムシーケンスを再生する方法であって、前記方法が、

ローカル・システムタイムカウンタ(STC)から導出されたパケット到着タイムカウンタを動作させるステップと、

前記ローカル・システムタイムカウンタ(STC)を、受信された基準プログラムクロック(PCR)にロックするステップと、

格納媒体から、情報信号パケットとそれらの対応するパケット到着タイムスタンプ(PAT)を取得するステップと、

取得された情報信号パケットの数を一時的に格納するステップと、

前記対応するパケット到着タイムスタンプ(PAT)が前記パケット到着タイムカウンタに一致するときに情報信号パケットを出力するステップと、
を有する方法において、

前記格納媒体から前記システムタイムカウンタのスタート値(STC-start)を取得し、

システムタイムカウンタ(STC)を、前記受信されたシステムタイムカウンタのスタート値(STC-start)によって設定する、

ことを特徴とする方法。

【請求項4】

前記システムタイムカウンタのスタート値(STC-start)に対応する基準プログラムクロック(PCR)情報を挿入することを特徴とする、請求項3による方法。

【請求項5】

A/V情報を有する格納されたリアルタイム情報信号パケット(CTS)の、請求項1の前記方法によって取得された2つの連結されたシーケンスを再生する方法であって、前記2つのシーケンスの前記パケット到着タイムスタンプ(PAT)において不連続が結合ポイントに存在し、かつ、前記2つのシーケンスのパケット到着タイムスタンプの間に重なりが存在せず、かつ、前記復号された対応する情報信号パケットがシームレスにプレゼンテーションされ、前記方法が、

ローカル・システムタイムカウンタ(STC)から導出されたプレゼンテーション

タイムカウンタを動作させるステップと、

前記ローカル・システムタイムカウンタ(STC)をロックして、前記最初または前記2番目のシーケンスのいずれかに対応する基準プログラムクロック(PCR)情報取得するステップと、

格納媒体から、情報信号パケットとそれらの対応するプレゼンテーションタイムスタンプ(PTS)を取得するステップと、

取得された情報信号パケットの数を一時的に格納するステップと、

前記対応するプレゼンテーションタイムスタンプ(PTS)が前記プレゼンテーションタイムカウンタに一致するときに情報信号パケットをプレゼンテーションするステップと、

を有する方法において、

前記次の2番目のシーケンスの前記最初の情報信号パケットの前記プレゼンテーションタイムスタンプ(PTS)の前記値から、前記2番目のシーケンスの前記システムタイムカウンタのスタート値(STC-start-2)を減じ、

ローカル・システムタイムカウンタ(STC)を前記システムタイムカウンタのスタート値(STC-start-2)の値に設定する必要のある瞬間を決定する、ことをさらに特徴とする方法。

【請求項 6】

MPEG 2トランスポートストリームパケットなどAV情報を有する情報信号パケット(TSパケット)のリアルタイムシーケンスを記録媒体上に記録するための装置であって、複数の情報信号パケットの前記シリアルシーケンスが、間隔を置いて、ローカル・システムタイムカウンタ(STC)を基準プログラムクロック(PCR)情報によってロックするための前記基準プログラムクロック(PCR)情報を有し、前記装置が、

前記情報信号パケットを受信するための受信手段と、

前記情報信号パケットの到着タイムに対応するタイムスタンプを生成するためのタイムスタンプ生成手段と、

前記生成されたタイムスタンプと情報信号パケットを前記記録媒体上に記録するための書き込み手段であって、前記タイムスタンプ生成手段が、前記受信され

た基準プログラムクロック(PCR)情報にロックされるシステムタイムカウンタを備える書き込み手段と、
を有する装置において、

前記タイムスタンプ生成手段が、請求項1の前記方法によってタイムスタンプを生成するように適合化されていることを特徴とする装置。

【請求項7】

請求項1の前記方法によって記録媒体上に記録された、MPEG 2トランSPORTストリームパケットなどA/V情報を有する情報信号パケット(TSパケット)のリアルタイムシーケンスを再生するための装置であって、

前記記録媒体上に記録された前記情報信号パケットを読み取るための読み取り手段と、

前記記録媒体から読み取られた情報信号パケットの数を一時的に格納を格納手段と、

ローカル・システムタイムカウンタ(STC)から導出されたパケット到着タイムカウンタを有するタイムスタンプ生成手段と、

情報信号パケットの格納されたタイムスタンプと、前記生成されたパケット到着タイムの値とを比較するための比較器手段と、

パケット到着タイムカウンタ値が前記対応するタイムスタンプに一致するときに、前記格納手段から情報信号パケットを出力するステップと、
を有する装置において、

前記タイムスタンプ生成手段が、請求項3の前記方法によってパケット到着タイムを生成するように適合化されていることを特徴とする、装置。

【請求項8】

MPEG 2トランSPORTストリームパケットなどA/V情報を有する情報信号パケットのリアルタイムシーケンスを記録媒体上に格納する方法であって、前記シーケンスが、ローカル・システムタイムカウンタ(STC)をロックするための基準プログラムクロック(PCR)情報と、前記情報信号パケット内に含まれる前記情報の前記プレゼンテーションタイムを決定するためのプレゼンテーションタイムスタンプ(PTS)と、前記情報信号パケット内に含まれる前記情報の前記復号タイムを

決定するための復号タイムスタンプ(DTS)情報と、パケット識別子(PID)マッピング情報とを有し、前記方法が、MPEG 2におけるI-フレームなどの前記シーケンス内の固有のエントリポイントにマークポイントを追加するステップを有する方法において、マークポイント以外に、基準プログラムクロック(PCR)情報、プレゼンテーションタイムスタンプ(PTS)情報、復号タイムスタンプ(DTS)情報、パケット識別子(PID)マッピング情報のうちの1つまたは複数を格納することを特徴とする方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明が属する技術分野】**

本発明は、請求項1の於て書きによる方法に関する。この方法は、さらに、請求項7の於て書きによる記録装置と、請求項8の於て書きによる再生装置に関する。

【0002】**【従来の技術】**

MPEG符号化トランSPORTストリームなど、A/V情報のリアルタイムストリームを表すデジタル情報信号は、送信サイトのタイムベース情報を有する。MPEG符号化トランSPORTストリームの場合、タイムベース情報は、トランSPORTパケット(TP)内で定期的に送信される基準プログラムクロックPCR (Program Clock Reference) によって指定される。このタイムベース情報は、受信サイトにおけるローカルクロックを、送信サイトにおけるクロックにロックするのに使用される。しかし、このタイムベース情報は、すべてのトランSPORTパケット(TP)内で送られるわけではない。このため、スタート時に、ローカルクロックがこのタイムベース情報によってまだロックされていないことがある。このことは、ロックされる前に到着するトランSPORTパケット(TP)に関して、これらのトランSPORTパケット(TP)を復号すべき瞬間 (復号タイムスタンプDTS (Decoding Time Stamp) を有するアクセスユニットAU (Access Unit) の場合)、またはプレゼンテーションを行うべき瞬間 (プレゼンテーションタイムスタンプPTS (Presentation Time Stamp) を有するアクセスユニット(AU)の場合) が分かっていないことを意味する。

【0003】

さらに、相異なるタイムベースを有する異なるプログラムの異なるストリームを連結することに起因して、例えば、編集後に、リアルタイムストリームに不連続が発生する場合、トランSPORTパケットの2番目のシーケンスの処理を開始するときに、そのような不連続のとの正しいタイミングを回復する必要がある。しかし、パケット到着タイムPAT (Packet Arrival Time) タイムスタンプカウ

ンタは、そのような不連続のあとでは不連続である。

【0004】

【課題を解決するための手段】

この結果、本発明の目的は、特に、上述されている欠点を未然に防止することである。その観点の1つにより、本発明による1つの方法は、請求項1の特徴記載部分と、請求項7の特徴記載部分による記録装置と、請求項8の特徴記載部分による再生装置とを特徴とする。

【0005】

最初の情報信号パケットのシステムタイムクロックの値を計算することは、再生パフォーマンスを向上させ、再生時の処理を単純化する。

【0006】

本発明のこれらおよびさらなる観点と利点は、望ましい実施例の開示と、特に、添付されている図面を参照しながら以下に詳しく説明される。

【0007】

【発明を実施するための形態】

図1は、MPEGトランSPORTパケット (TSパケット) のシーケンスを示す。このシーケンスは、最初のTSパケット1から始まる。TSパケット2は、対応するプレゼンテーションタイムスタンプPTS (Presentation Time Stamp) によって指定されるタイムに、復号されたプレゼンテーションユニット4としてプレゼンテーションされる符号化されたアクセスユニット3を構成する。このアクセスユニット3は、受信サイトにおける27 MHz PLLなどのローカル・システムタイムクロックが、ストリームに含まれるタイムベース情報にロックされる前に、受信される。この基準プログラムクロックPCR (Program Clock Reference) は、TSパケット5の中で最初に受信される。したがって、プレゼンテーションタイムスタンプ(PTS)が、最初の基準プログラムクロック(PCR)の到着より前の時間期間を指しているため、アクセスユニット4をプレゼンテーションすべきタイミングは不明である。

【0008】

図2は、MPEGトランSPORTパケット (TSパケット) のストリームにおける不連

続を示す。TSパケットの最初のシーケンス6のあとに、TSパケットの2番目のシーケンス7が続く。各シーケンスは、それ自身のタイムベース情報または基準プログラムクロック(PCR)を有する。この状況が、ストリームの編集後に起こる場合もある。このため、パケット到着タイムカウンタは、不連続である。最初のシーケンスのTSパケット8によって構成される最後のアクセスユニット(AU)は、2番目のシーケンスからの他のプレゼンテーションユニット10、11、12とともに、プレゼンテーションユニット9としてシームレスにプレゼンテーションされる。しかし、2番目のシーケンス7の基準プログラムクロック(PCR)を有する最初のTSパケットは、TSパケット13として到着するが、プレゼンテーションするべきTSパケット14は、その前に受信される。従って、ローカル・システムタイムクロックは、2番目のシーケンスのPCRにまだロックされていない。

【0009】

図3は、本発明の第1実施例による記録／再生装置におけるタイムスタンプ発生器手段15を示す。27MHz電圧制御発振器16は、システムタイムカウンタSTC (System Time Counter) 17を制御する。このカウンタは、スタート時に任意の値に設定され、MPEG方式(PCR、PTS、DTSなど)でカウントを行う。最初の基準プログラムクロック(PCR)情報が到着すると、システムタイムカウンタ(STC) 17は、ただちにその基準プログラムクロックの値に設定される。そして、受信された基準プログラムクロック(PCR)情報をシステムタイムカウンタ(STC)と比較する位相検出器によって、さらなるロックが達成される。位相差は、低域フィルタ(LPF) 19を介して、電圧制御発振器(VCO) 16に使用され、位相ロックループ(PLL)を構成する。システムタイムクロックは、対応するAPATタイムスタンプを生成するための、2進アプリケーションパケット到着タイムAPAT (binary Application Packet Arrival Time) カウンタ20を制御するのに使用される。

【0010】

スタート時、APATカウンタ20は、任意の値でスタートする。APATタイムスタンプは、受信された各TSパケットに付加される。このタイムスタンプは、TSパケットの到着タイムを表す。シーケンスの最初のTSパケットのAPAT [start] タイムスタンプと、基準プログラムクロック(PCR)を含むTSパケットのAPAT [PCR] タ

イムスタンプは、メモリ手段に一時的に格納される。この2つのタイムスタンプの間の27MHzサイクルの数が、APAT [PCR]からAPAT [start]を減じることによって計算される。この差を使用して、システムタイムカウンタのスタート (STC-start) が、最初の受信されたPCR値からこの差を減じることによって計算される。STC-startは、STCカウンタ17が最初からロックされていた場合のSTCカウンタ17の値である。STC-startは、MPEGストリームをディスクなどの記録媒体上に格納するときにセグメント属性として格納するのが望ましい。

【0011】

図4は、本発明による、シーケンスのスタート時におけるトランスポートパケットの再生の例を示す。この図には、不規則に受信されるTSパケット21が示され、TSパケット21の到着タイムはAPATタイムスタンプによって与えられる。TSパケット21の間のタイミングは、再生時にデジタルインターフェース上で一定に維持される必要がある。スタートセグメント22は、基準プログラムクロック (PCR) に基づいてスタートする必要はなく、このPCR情報はあとからTSパケット23によって受信される。基準プログラムクロック (PCR) 情報の繰り返し頻度は100msでもよいが、推奨値は40msである。受信されたTSパケット21は、平滑バッファ24に一時的に格納される。このため、対応するTSパケット21を有するアクセスユニット (AU)26によって与えられるプレゼンテーションユニット (PU)25がプレゼンテーションされるまでの、開始遅延が生じる。この遅延は、ストリームのAPATタイミングを維持する場合に必要である。

【0012】

平滑バッファ24の内容から、再生時に元のタイミングを再構築できる。このことは図5を参照することによって判る。図5は、図4に示されているように、本発明に従って記録されたTSパケットの記録されたストリームの正しいタイミングを生成するための、タイムスタンプ発生器手段を示す。開示されているこの実施例は、図3に開示されている実施例と非常によく似ており、従って参照番号も同じである。違いは、設定する対象が、システムタイムクロック (STC) カウンタ17であるかアプリケーションパケット到着タイム (APAT) カウンタ20であるかという点である。スタート直後、システムタイムカウンタ (STC) 17は、STC-start値によっ

て設定される。この値は、前述されているように、例えば、セグメント属性に格納される。この瞬間から、システムタイムカウンタ(STC)17は、基準プログラムクロック(PCR)にロックされる。アプリケーションパケット到着カウンタ(APAT)20は、最初のTSパケットからのアプリケーションパケット到着タイム(APAT)タイムスタンプによって設定される。TSパケットは、アプリケーションパケット到着タイム(APAT)タイムスタンプによって示されるタイムに、平滑バッファ24から取得される。ここで留意すべき点は、内部復号器の場合には必要ないが、インターフェース上では、ストリームは、挿入された基準プログラムクロック(PCR)パケットでスタートしてSTC-startを置き換える必要がある点である。

【0013】

図6は、不連続時のトランSPORTパケットの記録の例を示す。最初のシーケンス27と2番目のシーケンス28のアプリケーションパケット到着タイムスタンプ(APAT)は、結合ポイントにおいて不連続である。両カウンタの間のオフセットを計算する必要がある。これによって、正しいタイミングを平滑バッファ内で再構築できる。この図には、最初のシーケンス27からのアクセスユニット(AU)32が示されており、このユニットは、プレゼンテーションユニット29としてプレゼンテーションするべき最後のセグメントを構成する。このあとに、2番目のシーケンス28の最初のアクセスユニット(AU)33に対応する、次のプレゼンテーションユニット(PU)30が続く。プレゼンテーションユニット(PU)29は、最初のローカル・システムタイムカウンタSTC-1を参照するプレゼンテーションタイムスタンプPTS-1eを有する。プレゼンテーションユニット(PU)30は、2番目のローカル・システムタイムカウンタSTC-2を参照するプレゼンテーションタイムスタンプPTS-2bを有する。この場合、結合ポイントはCタイプであること、すなわち、定義により不連続後にバッファ問題が存在せず、最初と2番目のセグメントからのAPATタイムスタンプに重なりがなく、かつプレゼンテーションユニット29と30とがシームレスにプレゼンテーションされることが想定されている。

【0014】

プレゼンテーションがシームレスであることから、2番目のセグメントの最初のプレゼンテーションユニット30をプレゼンテーションするべき、ローカルタイ

ムスタンプSTC-1上でのタイミングPTS-1e+Tがわかる。また、2番目のセグメントの最初のプレゼンテーションユニット30から、このプレゼンテーションユニットをプレゼンテーションするべき、ローカルタイムスタンプSTC-2上でのタイミングPTS-2bがわかる。最初のTSパケットの到着タイムとプレゼンテーションタイムの間のクロックサイクル数は、PTS-2b > STC-start(2)である。このため、ローカルタイムベースSTC-1における、ローカルタイムベースSTC-2をSTC-start(2)に設定すべき瞬間を計算することができる。

【0015】

ここで注目すべき点は、復号器内でSTC-1とSTC-2に重なりが必要なことである(約1秒)。

【0016】

図7は、トランSPORTパケットを表す受信された情報信号を記録するための、入力端子34と受信手段35を有する記録装置を示す。パケット検出器36は、受信されたトランSPORTパケットと埋め込まれた基準プログラムクロック(PCR)信号の到着を検出する。タイムスタンプ発生器15(図3参照)は、そのローカル・システムタイムカウンタが基準プログラムクロック(PCR)信号にロックされる。スタート時、タイムスタンプ発生器15は、図3に示されているように、ローカル・システムタイムカウンタを設定するため、任意の値に設定される。生成されたタイムスタンプは、システムタイムカウンタのスタート値(STC-start)とともに、結合ユニット38内で、受信されたトランSPORTパケットと結合される。結合された信号は、チャネル符号化手段39によってチャネル符号化され、書き込み手段41によって記録担体40に記録される。記録担体は、ディスク形状タイプとすることが出来る。この場合、それは、回転手段42によって回転駆動され、その一方で、記録書き込みビームが移動手段43によって半径方向に移動する。記録担体は、記録可能なCDやDVDなどの光タイプとすることも出来る。この場合、書き込み手段41は、書き込みのためのレーザービームを発生し、かつ適切なフォーカス手段を有する。別の実施例においては、記録担体40は、磁気ディスクなどの磁気タイプとすることが出来る。

【0017】

図8は、本発明の方法によって記録された記録媒体40を走査するように適合化され、かつ適切な読み取り手段44による読み取りビームを有する再生装置を示す。記録担体40がCDやDVDなどの光タイプの場合には、読み取り手段は、記録担体40を走査するためのレーザービームと、それに対応するフォーカス手段とを有する。検出された信号は、チャネル復号手段45によってチャネル復号される。復号されたトランSPORTパケットとタイムスタンプは、トランSPORTパケットからタイムスタンプを分けるための逆マルチプレキシング手段46に送られる。タイムスタンプは、比較器手段38に送られる。図5を参照して開示されているようなタイムスタンプ生成手段37によって生成されたタイムスタンプ値も、この比較器手段38に送られる。記録されているシステムタイムクロックのスタート値(STC-start)は、本発明による方法に従って必要な場合にタイムスタンプカウンタをこの値にロックするために、タイムスタンプ生成手段37に送られる。生成されたタイムスタンプ値は、記録されていて取り出されたタイムスタンプ値と比較される。両方の値が一致する場合、バッファメモリ47に格納されている対応するトランSPORTパケットが出力手段48に送られて、出力端子49においてトランSPORTパケットのリアルタイムストリームが生成される。

【0018】

前述されているように、トランSPORTパケットは、リアルタイムAV情報を有することがある。それぞれ図7、図8を参照して開示されているような記録デバイスと再生デバイスとを組み合わせたデバイスを、ディスクベースのビデオレコーダとして使用できる。ユーザの利便性のため、重要なシーン、コマーシャルの最後など、記録されたAVプログラム内のキーポイントにユーザがマークできるようにすることができる。これらのキーポイントは、一般には、MPEG 2におけるI-フレームなど、ビデオエントリポイントとなるように選択される。しかし、再生デバイスがこれらのポイントでビデオを復号するために、追加の情報が必要となる。

【0019】

MPEG 2形式の完全な記載は、対応する国際規格ISO/IEC 13818の中に見出すことが出来る。I-フレームは、互いに独立して復号できる内部符号化(intra-code

d) フレームであり、これと対照的に、P-フレームは、予測によって符号化され、先行するP-フレームまたはI-フレームを必要とする。さらに、B-フレームまたは双方向フレームを区別することができ、これらのフレームは、符号化するのに先行または後続のI-フレームまたはP-フレームを必要とする。

【0020】

マークポイントで復号できるようにマークポイントとともに追加の情報を格納することによって、1つの有利な実施例が得られる。この格納が行われない場合、正しい復号が開始されるまでにいくらかの時間(1~2秒)がかかることがあり、ビデオのその部分は正しく表示されない。

【0021】

MPEG 2トランSPORTストリームの場合、マークポイントは、情報として、エントリポイントにおける基準プログラムクロック (PCR)、I-フレームのプレゼンテーションタイムスタンプ (PTS)、I-フレームの復号タイムスタンプ (DTS)、ストリームのパケット識別子 (PID) マッピングを含む必要がある。これらの情報によって、復号器はマークポイントから正しく復号を開始することができる。

【0022】

前述されたMPEG 2タイプのデジタルビデオストリームの場合、ノーマル再生速度とは異なる速度でビデオを再生するトリックプレイを実行するには、ビデオストリームの部分のみを取り出して復号し、残りを破棄する必要がある。多くの場合、例えば、DVDの場合など、必要なデータの先頭と必要なデータの最後の両方のポインタが格納されている。しかしながら、以下に説明される1つの有利な方法および実施例の場合、必要なデータの最後は格納されず、再生デバイスは、破棄すべき部分を認識するためにストリームを解析する必要がある。

【0023】

再生デバイスが、ストリーム内でのトリックプレイ情報の最後を認識しない場合、1つの単純な方法は、スタートポイントから次のスタートポイントまでのすべてのストリームデータを読み取ることである。この方法では、トリックプレイを実行するのに必要なデバイスマモリ量が増大し、記録担体のパフォーマンス要件も増大する。以下に開示されている有利な方法および実施例は、記録担体から

読み取る必要のあるデータ量と、デバイスマモリに格納する必要のあるデータ量を低減させる方法を提供する。

【0024】

2種類のトリックプレイについて考察する。最初のタイプは、ストリームからI-フレームのみが読み取られ、2番目のタイプは、I-フレームといくつかのP-フレームが読み取られる。この場合、I-フレームの先頭の位置が格納されるが、I-フレームの最後とP-フレームのポイントは格納されないことを前提とする。

【0025】

この有利な実施例および方法の基礎をなす基本的な洞察は、完全なピクチャグループ(GOP)を読み取ってI-フレームを取得する代わりに、I-フレームのサイズの推定に基づいて、GOPの一部のみが読み取られることである。ピクチャグループGOP (Groups of Pictures)は、MPEG 2形式(ISO/IEC 13818)に定義され、少なくとも1つのI-フレームと、1つ以上のP-フレームまたはB-フレームを有する。例えば、DVDディスクのセクションにおいては、平均的なI-フレームのサイズは28セクタであり、平均的なGOPのサイズは199セクタである。このことから、I-フレームを取得するためにGOPの1/4(50セクタ)を読み出すことが選択される。これは、平均サイズのほぼ2倍であるので、最悪の場合においても十分である。使用される推定は、ブロードキャストストリームの測定に基づく必要があり、HDTVストリームとSDストリームとで異なっていてよい。

【0026】

この方法は、I-フレームのみでなくP-フレームを使用するトリックプレイにも機能する。この場合には、読み取るGOPの割合が、より大きくなる。

【0027】

例えば、出願番号EP99/08285 (PHN 17161)の国際特許出願に開示されているようなトリックプレイの特性ポイント情報(Characteristic Point Information)から、I-フレームと次のI-フレームのプレゼンテーションタイムスタンプ(PTS)がわかる。これによって、GOP内のフレーム数を計算できる。このことは、それぞれ固有のGOP構造の場合に一般的な推定を修正するのに有利に使用できる。

【0028】

この方法では、場合によっては完全なI-フレームを読み取ることができないということが起こりうる。この事態が起きた場合、問題はない。トリックプレイのリフレッシュレートが低下するのみである。

【0029】

I-フレームが推定より一貫して大きいストリームを読み取る場合には、トリックプレイ再生時の画質が低下する。これを避けるため、アルゴリズムを適合化する。例えば、一定の時間期間内の2つのI-フレームが推定より大きいことが検出された場合に、読み取られるGOPの割合を大きくする。この状況が継続して起こる場合には、読み取られるGOPの割合を再び大きくする。このアルゴリズムは、十分に大きい値に非常に急速に収束する。さらに、読み取られるデータ量を適応的に低減することも可能である。このことは、特に、B-フレームのないストリームにおいてトリックプレイ用にP-フレームが使用される場合に有用である。

【0030】

特定の符号器、従って特定のストリームは、使用するピクチャの相対的なサイズが非常に規則的である傾向がある。さらに、符号器は、通常は固定GOPサイズで機能する。従って、この適応的な方法は、現実において非常に有効であるはずである。この方法は、不規則なGOP構造の場合にも、特性ポイント情報(CPI)内のプレゼンテーションタイムスタンプ(PTS)タイムを使用してGOP内のピクチャ数を計算することによって機能させることができる。

【0031】

これに代わる方法として、I-フレームの最後について記録時にストリームを解析し、I-フレームを取得するためにトリックプレイ時に読み取るべきGOPの割合を格納することができる。この値は、最悪の場合のサイズとして、あるいは95%～99%の確率で完全なI-フレームを取得できるだけの十分に大きな値として使用できる。

【0032】

この方法は、1つのプログラム内に複数のビデオストリームがある場合にも同等にうまく機能する。この場合、読み取るべきGOPの割合は同じであるが、実際の量は多くなる。

【0033】

図9は、符号化されたMPEG 2データのストリーム53の例を示し、矢印50は、特性ポイント情報(CPI)に格納されるエントリポイントを示す。I-フレームのエンドポイントが不明の状態で、本発明による再生デバイスは、トリックプレイ時に次のエントリポイントまで読み取る必要がない。読み取られるデータの量51は、GOP内のデータの量に依存する。

【0034】

次に、MPEG 2トランSPORTストリームなど情報信号パケットのストリームを受信するときに記録デバイス内におけるパケット識別子(PID)の変更を扱うための、1つの有利な実施例について説明する。この状況は、例えば、MPEG 2トランSPORTストリームをベースとするデジタルTV放送で発生しうる。パケット識別子(PID)は、ストリームのマルチプレクスにおいて異なるストリームを識別するために使用される。例えば、ビデオのPID、オーディオのPID、タイミング情報のPID、およびテレテキスト(teletext)情報のPIDが存在しうる。1つのプログラム内に複数のビデオストリームまたはオーディオストリームがあるブロードキャストの場合、各ビデオストリームと各オーディオストリームごとにPIDがある。デジタルTV放送中、PIDは、古いPIDに置き換わる新しいPIDに変わるか、PIDとストリームの間の対応関係が変化しうる。PIDマッピングの変更は、MPEGトランSPORTストリーム内のプログラム対応テーブルPAT(Program Association Table)とプログラムマップテーブルPMT(Program Map Table)によって伝えられる。このため、デジタルTV放送がストリームとして処理される場合、復号デバイスは、PIDが変更するタイミングを認識し、新しいPIDマッピングを認識する。

【0035】

MPEG 2規格によると、プログラム対応テーブル(PAT)は、プログラムのIDをそのプログラムトランSPORTストリームにマッピングする。PATは、プログラムのプログラムマップテーブル(PMT)を含むビットストリームのPIDを示す。

【0036】

1つの問題は、デジタルTV信号が記録されているとき、その信号が必ずしも最初から最後まで完全に再生されないことである。再生デバイスは、ストリーム内

でジャンプしたり(ランダムアクセス)、復号時にストリームの一部のみを選択する(トリックプレイ)ことがある。このため、再生デバイスは、PIDマッピングが変更されたことをストリームの復号を開始する前に認識しないことがある。例えば、トリックプレイ時、オーディオは、通常はストリームからフィルタ処理によって除去される。しかし正しいPIDマッピングが認識されていないと、オーディオをフィルタ処理することができず、場合によってはこの結果として、フィルタ処理によってオーディオの代わりにビデオが除外されてしまう(オーディオとビデオのPIDが切り替わった場合)。さらに、記録デバイスでは、編集によるPID変更も生じうる。

【0037】

本発明による方法および実施例では、PIDが変化するポイントを記録するため記録についてのメタデータを格納する。さらに、新しいPIDマッピングも格納される。PID変更のたびに、少なくとも次の情報が格納される必要がある。

- 1) PIDが変化するストリーム内のタイム
- 2) 例えば、新しいPIDが使用されるトランSPORTストリーム(TS)パケットを参照することにより、PIDが変化するストリーム内の位置
- 3) プログラム番号
- 4) 基準プログラムクロック(PCR)のPID
- 5) ビデオPID
- 6) オーディオPID

【0038】

複数のビデオストリームまたは複数のオーディオストリームの場合、ストリーム間の対応関係を格納する必要がある。この対応関係は、例えば暗黙的に行うことができる。データ構造内のストリームの順序が、その対応関係を定義する。

【0039】

図10は、MPEG 2トランSPORTストリームなどのオーディオまたはビデオストリーム54における、PID変更55のあとのランダムアクセスの場合を示す。再生デバイスがストリーム内のエントリポイント56にジャンプするとき、再生デバイスは、データの復号およびプレゼンテーションを開始するためにPIDマッピングを

知る必要がある。PIDマッピングを定義するPAT/PMTテーブルはストリーム内で繰り返されているが、これらのテーブルが常にエントリポイントの直前に存在するとは限らない。PIDの変更を記録するメタデータを調べることによって、再生デバイスは、プログラムのその部分の正しいPIDを認識でき、従ってストリームを正しくマルチプレギングおよび復号できる。複数のビデオストリームまたは複数のオーディオストリームの場合、再生デバイスは、それ以前にビデオストリームが表示されていた場合、そのストリームに正しく対応するビデオストリームを確実にプレゼンテーションすることができる。ストリームがデジタルインターフェースを介して送られる場合は、再生デバイスは、メタデータを使用することで、新しいPATおよびPMTテーブルを挿入して新しいPIDマッピングを示すことができる。

【0040】

図11は、PAT/PMTテーブルの変更58のあとの、オーディオまたはビデオストリーム57のトリックプレイを示す。再生するべきトリックプレイデータは、部分59によって示される。再生デバイスは、PIDマッピングを定義するメタデータを使用することで、ビデオ以外のストリームをフィルタ処理によって除去でき、複数のビデオストリームの場合に、トリックプレイで必ず正しいビデオストリームを使用することができる。トリックプレイストリームがインターフェースを介して送られる場合、ビデオPIDは再生中に再マッピングされることがあり、ノーマル再生が再開されたときに、再生デバイスは新しいPATおよびPMTを挿入して新しいPIDマッピングを示すことができる。

【0041】

本発明は、その望ましい実施例を参照して説明されたが、これらの実施例に限定されることは理解されるであろう。従って、当業者には、請求項に定義される本発明の範囲から逸脱することなくさまざまな変更が明らかであろう。本発明は、ハードウェアとソフトウェアの両手段によって実施することができ、いくつかの「手段」を1つのハードウェアにより実施してもよい。さらに、本発明は、すべての新しい特徴、または特徴の組み合わせの中にある。さらに、語「有する」は、請求項に示されている以外の要素またはステップの存在を除外するもので

はない。すべての参照記号は、請求項の範囲を限定するものではない。

【図面の簡単な説明】

【図1】スタート時のMPEGトランSPORTパケットのストリームのシーケンスを線図的に示す。

【図2】MPEGトランSPORTパケットのストリームの2つのシーケンスの間の不連続を示す。

【図3】本発明による、記録時の記録／再生装置内のタイムスタンプ発生器手段を示す。

【図4】本発明による、シーケンスのスタートにおけるトランSPORTパケットの記録の一例を示す。

【図5】本発明による、再生時の記録／再生装置内のタイムスタンプ発生器手段を示す。

【図6】不連続時の、トランSPORTパケットの記録の一例を示す。

【図7】図3のタイムスタンプ発生器手段を採用する記録装置を示す。

【図8】図5のタイムスタンプ発生器手段を採用する再生装置を示す。

【図9】トリックプレイ用の符号化データのストリームからデータを読み取るための、本発明による1つの有利な実施例を示す。

【図10】PID変更後の、MPEG 2トランSPORTストリームデータのストリームにおけるランダムアクセスを示す。

【図11】PAT/PMT変更後の、MPEG 2トランSPORTストリームデータのストリームのトリックプレイを示す。

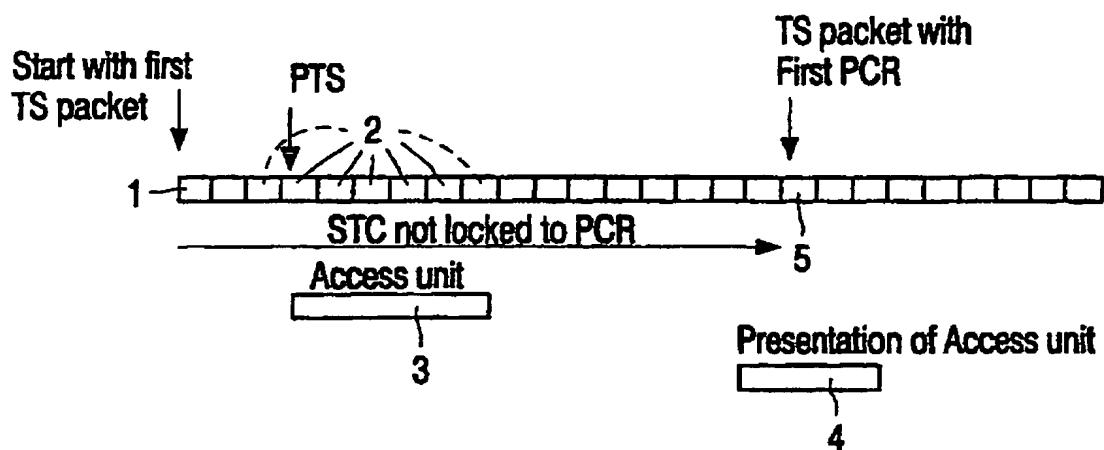
【符号の説明】

- 1 TSパケット
- 2 TSパケット
- 3 アクセスユニット
- 4 プレゼンテーションユニット
- 5 TSパケット
- 6 シーケンス

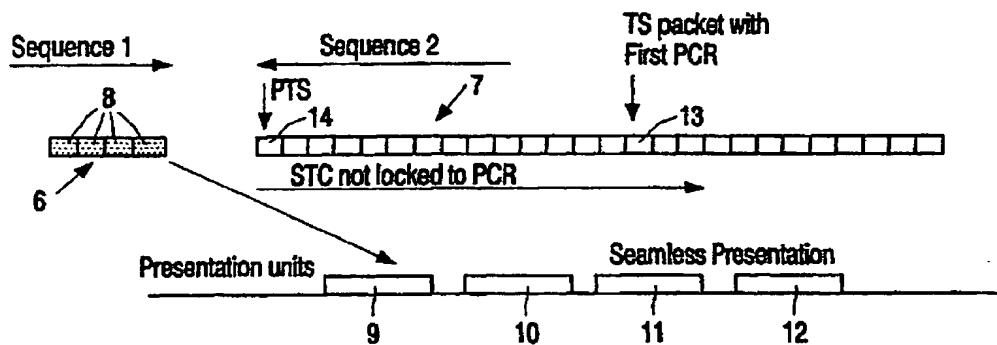
- 7 シーケンス
- 8 TSパケット
- 9 プrezentーションユニット
- 10 プrezentーションユニット
- 11 プrezentーションユニット
- 12 プrezentーションユニット
- 13 TSパケット
- 14 TSパケット
- 15 タイムスタンプ発生器手段
- 16 27 MHz電圧制御発振器
- 17 システムタイムカウンタ
- 18 位相検出器
- 19 低域フィルタ
- 20 2進アプリケーションパケット到着タイムカウンタ
- 21 TSパケット
- 22 スタートセグメント
- 23 TSパケット
- 24 平滑バッファ
- 25 プrezentーションユニット
- 26 アクセスユニット
- 27 シーケンス
- 28 シーケンス
- 29 プrezentーションユニット
- 30 プrezentーションユニット
- 32 アクセスユニット
- 33 アクセスユニット
- 34 入力端子
- 35 受信手段
- 36 パケット検出器

- 37 タイムスタンプ生成手段
- 38 結合ユニット
- 39 チャネル符号化手段
- 40 記録担体
- 41 書き込み手段
- 42 回転手段
- 43 移動手段
- 44 適切な読み取り手段
- 45 チャネル復号手段
- 46 逆マルチプレキシング手段
- 47 バッファメモリ
- 48 出力手段
- 49 出力端子
- 50 矢印
- 51 データの量
- 53 MPEG 2データのストリーム
- 54 オーディオまたはビデオストリーム
- 55 PID変更
- 56 エントリポイント
- 57 オーディオまたはビデオストリーム
- 58 PAT/PMTテーブルの変更
- 59 部分

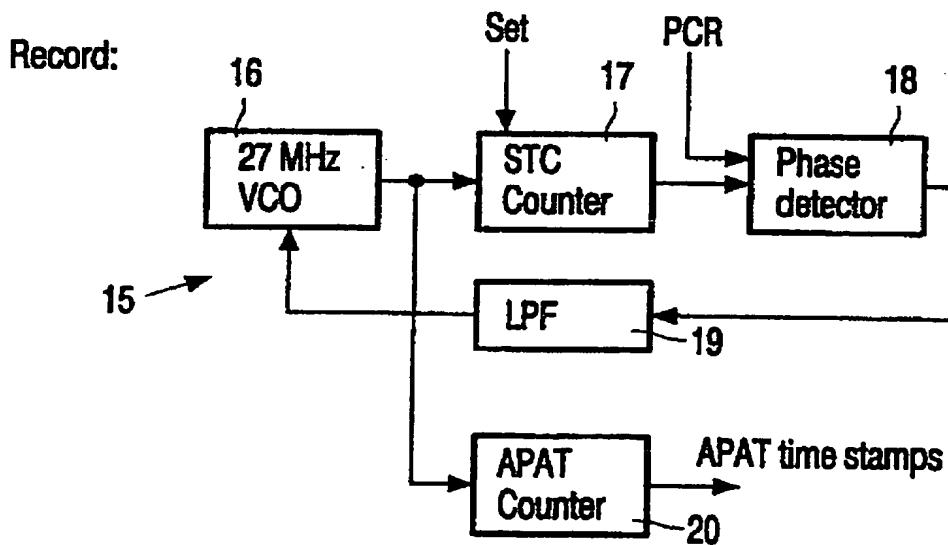
【図1】



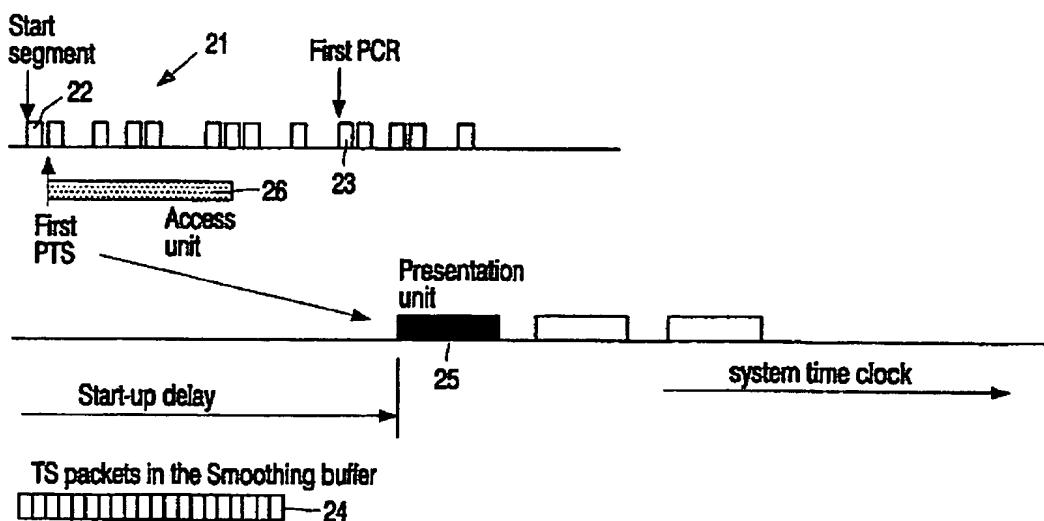
【図2】



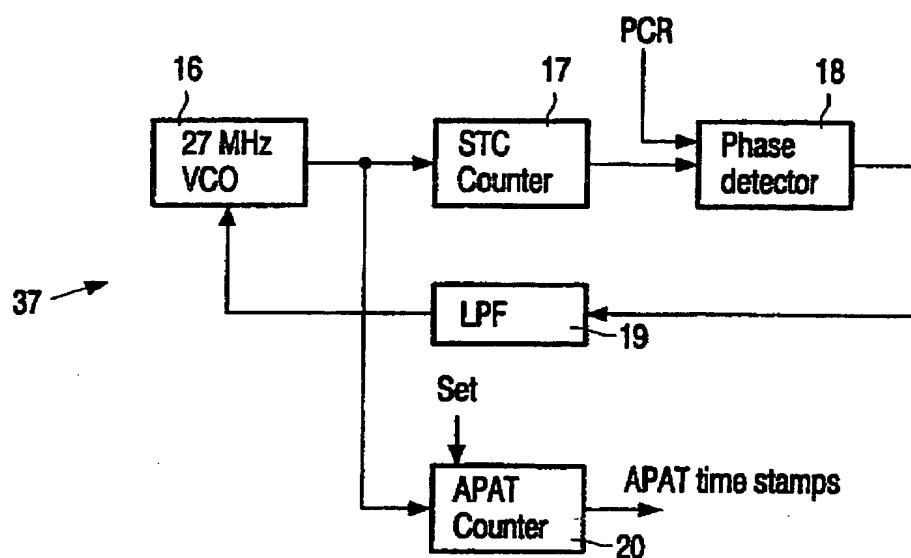
【図3】



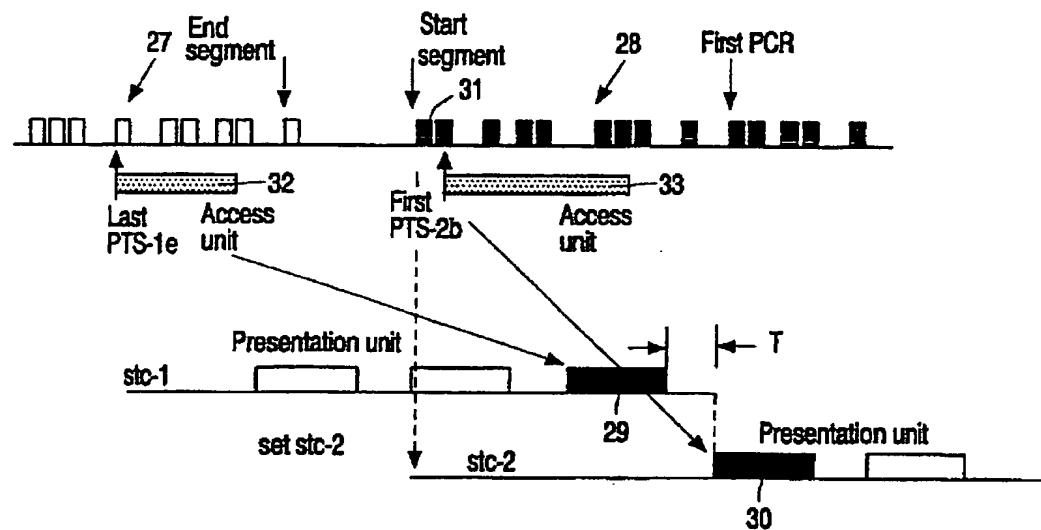
【図4】



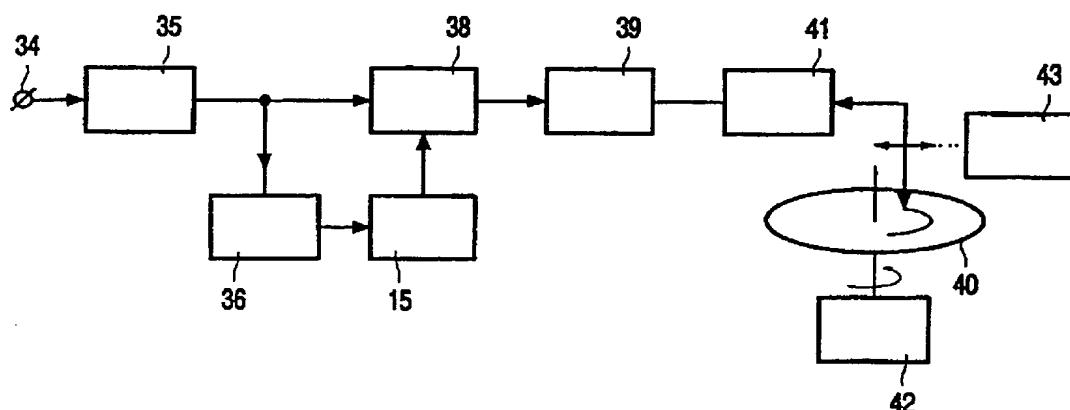
【図5】



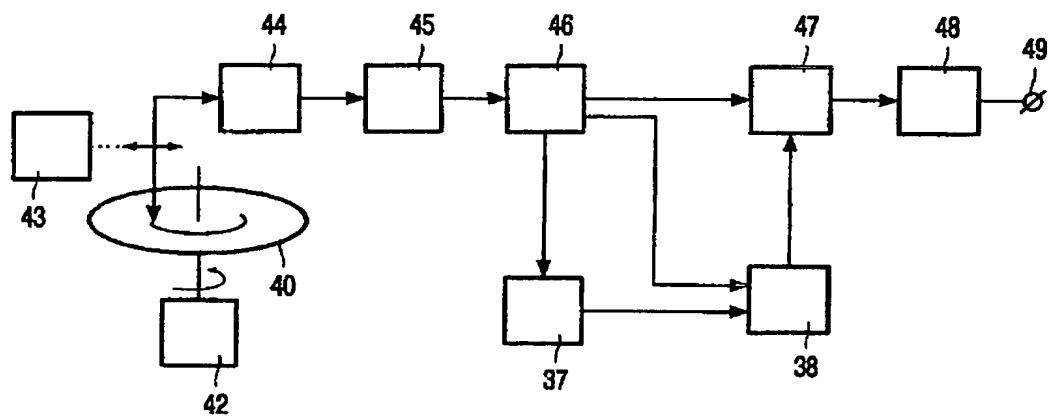
【図6】



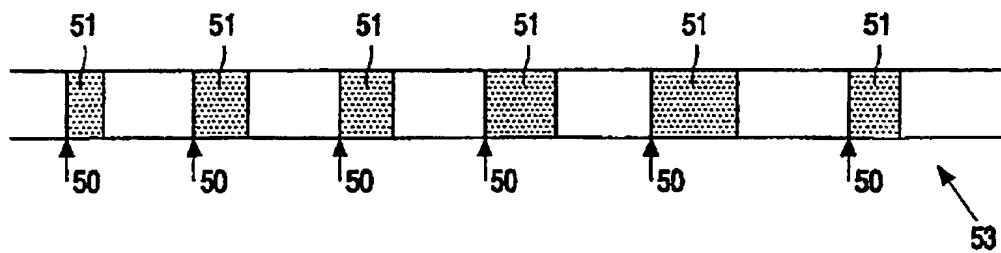
【図7】



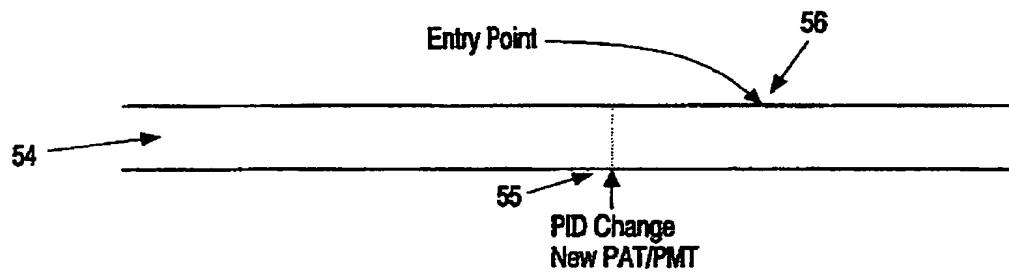
【図8】



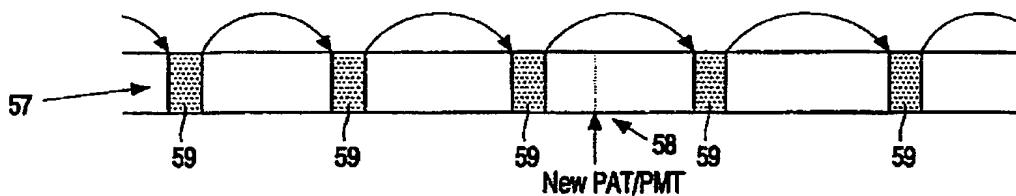
【図9】



【図10】



【図11】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Int'l Application No
PCT/EP 01/00110

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
IPC 7 HO4N7/62 HO4N5/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
IPC 7 HO4N G11B

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used)

EPO-Internal, PAJ, WPI Data

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	EP 0 794 667 A (SONY CORP) 10 September 1997 (1997-09-10) abstract column 15, line 12 - line 36 figures 3,13,16 ---	9
A	EP 0 942 603 A (SONY CORP) 15 September 1999 (1999-09-15) column 14, line 34 -column 15, line 56 column 27, line 10 - line 32 figure 10 ---	1-5, 7-9
A	US 5 751 721 A (BLOKS RUDOLF H J) 12 May 1998 (1998-05-12) abstract column 2, line 61 -column 3, line 2 column 4, line 40 - line 47 ---	1-5, 7-9 -/-

Further documents are listed in the continuation of box C.

Patent family members are listed in annex.

* Special categories of cited documents:

- *A* document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
- *E* earlier document but published on or after the international filing date
- *L* document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
- *O* document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
- *P* document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

- *T* later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
- *X* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
- *Y* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
- *A* document member of the same patent family

Date of the actual completion of the International search	Date of mailing of the International search report
9 May 2001	15/05/2001
Name and mailing address of the ISA European Patent Office, P.B. 5010 Patentkantoor 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel: (+31-70) 340-2040, Tx: 31 651 epo nl Fax: (+31-70) 340-3016	Authorized officer Fantini, F

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Int'l	Serial Application No
PCT/EP 01/00110	

C(Continuation) DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 5 805 602 A (CURTIS KATHLEEN P ET AL) 8 September 1998 (1998-09-08) abstract column 2, line 9 - line 18 column 5, line 38 - line 63 column 14, line 59 -column 15, line 25 ----- WO 98 17024 A (SARNOFF CORP) 23 April 1998 (1998-04-23) abstract page 3, line 6 - line 28 page 7, line 4 - line 8 page 11, line 14 - line 21 page 12, line 4 - line 19 ----- US 5 966 385 A (FUJII YUKIO ET AL) 12 October 1999 (1999-10-12) column 6, line 36 - line 53 column 8, line 44 - line 51 ----- US 5 838 876 A (IWAMURA RYUICHI) 17 November 1998 (1998-11-17) abstract column 5, line 31 - line 34 column 6, line 11 - line 29 ----- HURST ET AL: "MPEG Splicing - Tutorial and Proposed SMPTE Standard" PROCEEDINGS OF THE SMPTE TECHNICAL CONFERENCE, XX, XX, November 1997 (1997-11), pages 105-117, XP002098562 the whole document -----	1-5,7-9 1-5,7-9 1-5,7-9 1-5,7-9 1-5,7-9 1-5,7-9

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Int'l. Appl. No.
PCT/EP 01/00110

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
EP 0794667 A	10-09-1997	JP 2785220 B JP 6325553 A JP 6164522 A AT 170354 T AU 669563 B AU 4833393 A DE 69320620 D DE 69320620 T EP 0622002 A WO 9407332 A JP 6267196 A US 5455684 A US 5504585 A US 5568274 A	13-08-1998 25-11-1994 10-06-1994 15-09-1998 13-06-1996 12-04-1994 01-10-1998 14-01-1999 02-11-1994 31-03-1994 22-09-1994 03-10-1995 02-04-1996 22-10-1996
EP 0942603 A	15-09-1999	JP 11261958 A CN 1236267 A	24-09-1999 24-11-1999
US 5751721 A	12-05-1998	EP 0763296 A WO 9631033 A JP 10509294 T	19-03-1997 03-10-1996 08-09-1998
US 5805602 A	08-09-1998	US 5966387 A US 5790543 A	12-10-1999 04-08-1998
WO 9817024 A	23-04-1998	EP 0932949 A JP 2001502503 T US 6208643 B	04-08-1999 20-02-2001 27-03-2001
US 5966385 A	12-10-1999	JP 8275147 A JP 8275151 A CN 1140956 A EP 0735776 A KR 226528 B US 5898695 A	18-10-1996 18-10-1996 22-01-1997 02-10-1996 15-10-1999 27-04-1999
US 5838876 A	17-11-1998	NONE	

フロントページの続き

(72)発明者 ファン ゲステル ウィルヘルマス ジェ

ー

オランダ国 5656 アー アー アインド
ーフェン プロフホルストラーン 6

(72)発明者 アイエデンス ピータ ピー

オランダ国 5656 アー アー アインド
ーフェン プロフホルストラーン 6

F ターム(参考) 5C053 FA20 FA24 FA25 GA11 GB06

GB38 HA24 HA25 HA29 HA33

JA22 KA01 KA12 KA18 KA20

SK028 AA01 AA15 EE02 EE03 KK01

KK03 KK32 NN01 NN22 NN23